



平成21年 5月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
視点・声・べんべん草	子どもの詩	ひと・文化協会スタート	スポーツ・情報・埋蔵文化財	公共施設利用料改定	高齢者クラブ解散	組織図
						平成21年度公民館事業 スタート(本館3部)



# まつかわ百景 ③

## 「リンゴの花と仙丈ヶ岳」

時ならぬ寒波に耐えて咲いたリンゴの花。  
背景は前日の荒天で雪化粧した仙丈ヶ岳。

(上大島)

土の筆に坊やと書いたらつくしんぼ、今年一番に食べた山菜です。

春休みも終わり頃、子どもたちと祖母が散歩しながら半日かけて摘んできてくれました。両手に山盛り一杯はあったでしょう。穂がキュツと締まっていて、太くて短い食べ頃のもの。がたつぷりありました。すぐに思いつくのは炒めもの、夕ごはんの間に合うように、急いでハカマを取り始めました。

☆☆☆

小さな頃の記憶に残るつくしんぼの風景というと…

原田の堤の土手で、触れると胞子がホアホアと舞うほどの背高のつぼのつくしんぼを、夢中になって摘んだこと。食べられると知って、どんなに美味しいだろうと、夕方妹たちとフライパンで炒めました。あの頃はハカマは取らず、みどり色の胞子の苦さも知りませんでした。摘んだままを、水で洗うと油も飛ぶので、さつと水をかけただけで、熱した

## 主張

## 春 厨

油の中へ(ジャァー、ピチピチピチ、あれ?こんなに少しになっちゃった) 醤油を回しかけて、火を止めて、はい出来上がり。

☆☆☆

さて、夕ごはん。つくしんぼの炒めものが食卓に並びました。

「いただきます」 幼い子どもたちには好みではなかったようです。小さい頃の私と同じです。

そして今の私は、30年前の母と同じように「おいしい、本当においしい」と摘んで来てくれたうれしさで言います。(そう、あの時にはわからなかったけれど) おいしさは、笑顔がこぼれる食卓にあると思います。

子どもたちには幸せな気持ちで思い出せるひと皿との出合いを願い、夫には同じものを共に食べられる幸せを、父や母には年を重ねた時に味わいの情景がいつばいであることを願って、今日もごはんを作ります。

竹下則子(原田)

# 平成21年度

# 公民館事業スタート

## 住みよい地域づくりを 目指して

社会部長 水野耕一郎

公民館本館社会部では、「住みよい地域づくり」を活動方針に掲げ、今年度も地域全体が活性化するような活動を計画しています。

ここ数年、重点的に行っているあいさつ運動については、本館三部、各地区館、社会を明るくする運動等、多くの皆様のご協力を頂き徐々に浸透しつつあります。今年には更に広がりを持たせるため、様々な団体に声をかけ活動の幅を広げていきたいと思っております。

公民館研究集会については、分散会形式を採って、ご参加頂いた方々より様々なご意見を寄せて頂きました。今年度は、寄せられたご意見をもとに一度総括し、地域社会全体の発展に繋がるきっかけを作ることができればと思っております。



元気なあいさつを広げよう！

会の企画運営を行います。これらの行事は、親子での参加だけでなく、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々のご参加を頂いておりますので、より一層家庭や地域での話題となるような興味ある行事としていきたいと思っております。

## 楽しくスポーツを

体育部長 塚本 聡

平成21年度がスタートとして1ヶ月が過ぎました。体育部では、お年寄りから子どもまで皆で楽しめるスポーツをと活動しています。それの中には「ニュースポーツ」と呼ばれ、皆様のお目にかかる事があまりないスポーツではあります。簡単なルールで気軽に出来るものも数多くあります。本年度は、出張講習や夏季・冬季2回のスポーツフェスティバル等を通じ、皆様と楽しくスポーツが出来ればと思っております。また「トランポリン教室」「ファミリー登山」「駅伝大会」と毎年恒例となりました行事も予定しております。

トランポリン教室は子ども達を中心に行っておりますが、保護者の方も是非一緒に汗を流し、楽しさや感激を共有して頂きたいと思っております。

また、身近な自然の中を歩くファミリー登山は、陣馬形への登山を予定しております。一昨



みんなで楽しめるニュースポーツ

年より上片桐公民館のご協力により共催させて頂いており、本年度はより一層町民の皆様にしみをと各地区公民館の皆様にもご協力をお願い致したく思っております。早秋の澄んだ空気の中へと足を運ぶ爽快感を楽しみに、皆様是非ご参加下さい。

さて、本年度で25回目となります。また、本年度は松川町におきまして長年行われてまいりました伝統ある大会であり、今後とも

特に、公民館で行われる本館社会部、体育部を始め各地区館、関連団体などのさまざまな行事を取材させて頂いたとき、町民の皆様に行事の様子をお知らせしていきたいと思っております。その記事で興味をもつて参加するきっかけにしたいだけだと考えています。

また、町民の皆様の声や紙面に反映させていきたいと思っておりますので、取り上げて欲しいことがありましたら、お知らせいただければ取材に参りますので、お気軽にお声をかけください。

読みやすく親しみやすい館報を目標に、部員全員いっその努力をしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力を宜しくお願いたします。

## 親しみやすい館報を

編集部長 大久保康司

編集部では、今年度も松川町の情報を、毎月の館報にまとめて町民の皆様のお手元にお届けしていきたいと思っております。



# 21年度 公民館関係の組織構成

## 教育委員

委員長 倉田 紀(南方)  
 職務代理 片桐 一美(諏訪形)  
 委員 橋場正農夫(中山)  
 委員 高坂美千代(城北)  
 教育長 松村 直彦(古町北部)

## 社会教育委員

委員長 堤 久(古町中部)  
 副委員長 大澤 美子(上町)  
 委員 福沢 貞和(中山)  
 委員 佐藤 清(滝の沢)  
 委員 佐々木順子(宗源原)  
 委員 岡田 和子(大島上部)  
 委員 北原 宏(東小学校)

## 運営審議会委員

会長 深津 徹議(会)  
 会長代理 堤 久(社教委)  
 委員 松本 敏彦(議 会)  
 委員 松本 富雄(中央小学校)  
 委員 五味 一男(北小学校)  
 委員 高田 勉久(社 協)  
 委員 清水 稔子(女団連)  
 委員 下平 勉久(社 協)  
 委員 片桐 茂敏(北小PTA)  
 委員 佐々木順子(社教委)  
 委員 佐藤 清(社教委)  
 委員 神村 憲好(体育協会)  
 委員 久保田光男(文化協会)

## 体育指導委員

委員長 宮下 明(宗源原)  
 委員 唐沢 敏行(部 奈)  
 委員 池野 妙子(宮 坂)  
 委員 宮下 剛彦(原 原)  
 委員 米山 春彦(大沢北部)

## 本館部員

〈社会部〉  
 部長 水野耕一郎(桑園東部)  
 副部長 矢澤 恵樹(松 川)  
 部員 小島 慎司(中央第二)  
 部員 奥田 茂(堤 原)  
 部員 湯澤 秀樹(増 野)  
 部員 大場 将博(堤 原)  
 部員 吉川 佳弘(大沢北部)  
 部員 堀木 拓也(下垣外南)  
 部員 小林 鉄也(清 北)  
 部員 伊藤 卓哉(滝ノ沢)  
 〈編集部〉  
 部長 大久保康司(中荒町)  
 副部長 松下 佳史(城 北)  
 部員 宮下 徹(弥久司)  
 部員 宮下 和子(上 町)  
 部員 坂本 美帆(福 沢)  
 部員 宮崎亜希子(馬 坂)  
 部員 三島真理子(古町北部)  
 部員 光澤 正之(清泉地一)

## 地区協議会

〔大島地区〕  
 協議会長 溝口 邦雄(古町東部)  
 主 事 北澤 秀人(宗源原)  
 主事補 市岡 智(古町中部)  
 〔上片桐地区〕  
 協議会長 塚本 紘造(上 町)  
 主 事 牛久保 守(町 谷)  
 主事補 竹村 敏典(鶴 部)  
 〔生田地区〕  
 協議会長 未 定  
 主 事 松下 聡(長 峰)  
 主事補 下平 正明(部 奈)  
 部長 塚本 聡(上 町)  
 副部長 宮脇 俊典(新井南部)  
 部員 大島 賢悟(馬 坂)  
 部員 橋場 龍司(中 山)  
 部員 宮沢 武彦(中 山)  
 部員 神田 康憲(上 町)  
 部員 大島 崇(古町東部)  
 部員 米山 愛堤(原 原)  
 部員 嵐 雅俊(本 町)  
 部員 小沢真奈美(東 浦)

## 教育委員会事務局

教育長兼生涯学習課長  
 兼図書館長兼資料館長  
 公民館長 松村 直彦  
 公民館長 塩澤 三佳  
 事務局長 宮澤 克司

## 地区公民館役員名簿

地区館名	館長 [副館長(会 計)]	主 事 [主 事 補]	社会部長	体育部長
			社会部副部長	体育部副部長
古 町地区公民館	溝口 邦雄	吉川 貴尋 宮下 明弘	福与 且幸 丹羽 正宣	中島 貴裕 大島 純一
上新井地区公民館	菅沼 芳彦	福澤 隆夫 中平 芳照	米山 敏 佐々木 保	中島 正男 平野 竜也 佐々木 順也
名子地区公民館	南端 照雄	松下 修司 山上 秀穂	八森 俊樹 松下 啓介	下井 昭二 松崎 信宏
上大島地区公民館	西尾 鎮雄	桜井 智史 小木曾 剛	白沢 順司 北沢 秀公	斉藤 健幸 竹村 隆
上片桐地区公民館	塚本 紘造 [宮沢 章治] (橋場幹太郎)	牛久保 守 竹村 敏典	岡部 和広 山本 晃永	大沢 智宏 大木島博明
福与地区公民館	[久保田 智]	松村 盛充	竹村 正裕 宮沢 勝久	下沢 紀之 寺澤 一郎
生東地区公民館	下澤 重利	遠藤 健二 [市岡 和勇]	下澤 正治 大森 文裕	木下 昌浩 清水 陽治
部奈地区公民館	唐沢 邦博 (林 宗行)	中島 宏	北林 長 林 利文	伊藤 孝美 下平 和美

資料館・図書館係長 酒井 幸則  
 生涯学習・男女共同参画係長  
 兼公民館主事兼社会教育主事 小木曾雅彦  
 社会教育指導員 宮下 千波  
 生涯学習・男女共同参画係兼  
 公民館主事 新井 直彦  
 図書館司書 清田 洋子  
 図書館 斉藤 秀子  
 社会教育施設管理 下平富二子  
 図書館 小平 純久  
 社会教育施設管理 宮下 義雄  
 名子原体育館管理 松下 勝子  
 福与体育館管理 高坂美智子

〔福与体育館〕 (電話) 36-6205  
 〔名子原体育館〕 (電話) 36-6311  
 〔資料館〕 (電話) 34-0733  
 〔図書館〕 (電話) 36-3746  
 〔中央公民館・町民体育館〕 (電話) 36-2622  
 〔教育委員会事務局〕 (電話) 36-7023

■連絡先

# 高齢者クラブの歴史を振り返り見て

## 解散を惜しむ

久保 政人



今年は2年毎に行われる、役員選挙の年を迎えましたが、私共高齢者クラブへは若手会員の入会がなく、役員交代ができない理由で連合会退会の聲が各クラブから出て参りました。去る3月26日合同役員会を開催し長時間に亘る討議の結果、創立以来52年の歴史に終止符をうち、連合会の解散を決定しました。誠に残念であります。

私共の先輩は、どのようにして連合会を立ち上げどのような経過を経て今日に至ったのでしょうか。「松川町老人クラブ15周年に当り」と題して、昭和47年に会報高砂に投稿された上片桐塚本菊松さんの寄稿文によると、昭和32年11月老後の健康と福祉の増進を図る目的で、松尾伝吉、岩崎藤七両氏が相図り、旧大島上片桐の有志16名と、懇談会を開

催、趣旨の賛成を得て、設立委員会の設置男女該当者全員加入を目標に進める事を決定、その後設立委員会を取りまとめた結果440名の入会を確認、役員選挙の結果(敬称略)会長

松尾伝吉、副会長長沼銀一郎、会計中島元太郎、塚本菊松理事、米山長一郎、南林又三郎、会の名称を松川町長生会と命名して、昭和33年4月13日創立総会を松川中学校体育館で開催した。34年9月生田洗心楽生会及び山吹の里見との合



併がまとまり、会の名称を松川町洗心長生会と改名が総会で承認された。46年福祉法や周囲の状況から会名を松川町

老人クラブ連合会に改名。

以上塚本菊松氏の記事は非常に詳細に記録されており、当時の先輩の皆様が健康や福祉が老後いかに大切であるかを考えて立ち上げに成功され、戦後を生き抜いて来た先人の気骨や、先見的判断に頭が下がります。当時は戦後で娯楽



がない時代で長生会では総会に併せて、大鹿歌舞伎や女劇劇豊川の少女劇団、生田出身の歌手、伊那童子等を招聘した。これが大当たりで会員も1600人を数え、又資金面と併せ会の体力アップに成ったと想像されます。

会報高砂は、昭和36年1月創刊号を発行以後休む事なく年2回発行され、西暦2000年には2000年特集号を発行、担当された上片桐宮下朝男さん等のお骨折りで発行



され、又長年に亘り高砂の表紙写真は宮下さんの提供に寄るのもので、馬の年は木曾馬牧場。牛年には大鹿の牧場で撮影され、蔭にかくれた大きな御協力に感謝しております。本年2月には97号が発行されました。昭和38年には老人福祉法が制定され、国・県・市町村各三分の一の負担で補助金が交付される事になり、以降のクラブ活動の大きな支えになりました。事業では一円



玉募金、清掃用具の贈呈、高齢者講座、ゲートボール大会

等、皆30年以上の歴史があり私共はこの歴史を大切に参りました。紙面の都合で省略します。平成20年4月1日より松川町高齢者クラブ連合会に名称変更しました。

以上のように先輩は会の立上げに、又52年に及ぶ伝統を守って参りました。

社会の多様化により若手(70代)の皆様も、大変御忙しい毎日ですが、老いの道は誰もが通らなければならぬ道です。高齢者福祉は国等行政だ



けから与えられるものではありません。心のこもった支え合いで自分達で作るものです。やがては自分達が座るであろう心地のよい座布団作りに手を貸して下さい。各単位クラブの皆様が健康で楽しい活動ができますよう御祈念申し上げます。

# 10月1日から 社会教育施設等 使用料がかかります

平成17年度 松川町自治体  
経営改革プランにおいて公共  
施設使用料の見直しを規定し、  
検討をしておりますが、  
この3月に開催されました議  
会定例会において使用料徴収条  
例の一部改正が可決され、平  
成21年10月1日の施設利用か  
らの実施に向けていよいよ準  
備段階に入りました。

## 見直しの基本方針と概要

① 使用料等算定方法の明確化  
使用料については施設の年  
間維持管理経費を年間利用可  
能時間で除算したものを1時  
間当りの使用料の目安としま  
した。これにより、使用料に  
関しては、従来の料金より安  
くなります。

照明料については、1時間  
当りの電気料を目安としまし  
た。水銀灯を使用した施設は、  
消費電力量によって従来の料  
金より高くなります。逆に、  
蛍光灯を使用した施設では、  
従来の料金より安くなります。

② 減免制度の見直し  
社会教育活動を行なう団体

を支援するため今までどお  
り減免措置を継続しますが、  
それには減免認定団体の明  
確化を図ることが必要とな  
り、「松川町社会教育関係団  
体の認定に関する取扱要綱」  
を制定しました。

この制度は、今まで「社  
会教育関係団体」とされて  
きました皆様にも、中央公  
民館等受付に設置しました  
「松川町社会教育関係団体  
の認定に関する取扱要綱」  
に添付された「松川町社会  
教育関係団体認定申請書」  
を提出していただくなか  
ばなりません。申請書を受  
けた教育委員会は審査をし、  
認定した団体に対し、「松  
川町社会教育関係団体認定  
証」を発行します。認定さ  
れた団体は、その「認定証」  
を施設申込時に提示して  
いただくこととなります。

お手数をおかけすること  
となりますが、ご協力いた  
だきますようお願い申し上  
げます。

## 松川町使用料徴収条例の改正部分

(単位:円)

使用場所	内容	定員	使用料	冷暖房料	照明料	
中央公民館	大会議室	90畳	100人	200/時間		
	中会議室	44	45	100/時間		
	小会議室(1)	14	18	40/時間		
	小会議室(2)	14	18	40/時間		
	学習室(1)	イス	40	100/時間		
	学習室(2)	イス	50	100/時間		
	料理教室	イス	50	100/時間		
	印刷・会議室	イス	10	60/時間		
	コンピュータ教室	40基	40	200/時間		
	応接室	イス	10	40/時間		
	ロビー			80/時間		
	暗幕・紅白幕	1枚	50			
	パネル	1枚	100			
長尺	1m	200				
その他用具	1回	100				
運動公園	グラウンド	1面当たり	200/時間		400/時間	
	テニスコート	1面当たり	40/時間		400/時間	
町営グラウンド	グラウンド	1面当たり	200/時間		400/時間	
	アリーナ	1面当たり	400/時間		300/時間	
町民体育館	トレーニングルーム		300/時間	800/時間	300/時間	
	柔道室		200/時間		100/時間	
	卓球、剣道室		200/時間		100/時間	
	体力相談室		80/時間			
	音楽室		40/時間			
	音楽室	1回	1,000			
	スタジオ	使用料・照明料の100分の30			シャワー	1回 100
名子原体育館	アリーナ		400/時間		200/時間	
	柔道練習場		80/時間		100/時間	
福与体育館	ミーティングルーム		20/時間			
	アリーナ		400/時間		200/時間	
町営弓道場	弓道場	5人立ち	200/時間		100/時間	
	学校体育館		400/時間		200/時間	
学東リズム室	リズム室		200/時間		中学校100/時間	
	リズム室		400/時間		200/時間	
上片桐農村環境改善センター	和室 1	40畳	100/時間			
	和室 2	20畳	50/時間			
	研修室		100/時間			
	多目的ホール		300/時間		200/時間	
料 理 室		100/時間				

## 社会教育関係団体の認定への手順

### ①申請について【各団体】

施設受付場所に備え付けの「松川町社会教育関係団体の認定に関する要綱」中の「松川町社会教育関係団体認定申請書」に記入し、施設受付場所に提出します。

#### 施設受付場所

中央公民館・上片桐支所・生田支所・松川中学校・松川中央小学校・松川北小学校・松川東小学校・松川町役場内教育委員会

申請期間の規定はありませんが、混乱を避けたいため、また制度開始の初年度ですので、なるべく6月15日頃までに申請してください。



### ②認定について【教育委員会】

申請を受け、教育委員会で審査します。認定を受けた団体には「松川町社会教育関係団体認定証」を発行します。



### ③減免支援について

発行された「松川町社会教育関係団体認定証」を施設申込時に提示していただくことにより、施設使用料の減免支援をいたします。

### 社会教育関係団体のうち申請の必要のない団体

- ・ 公民館地区協議会、地区公民館
- ・ 松川町文化協会
- ・ 松川町体育協会
- ・ 松川町少年少女スポーツクラブ連盟

### お問合せ

松川町中央公民館内教育委員会生涯学習課  
TEL 36-2622 FAX 36-6620  
Eメール c.kouminkan@matsukawa-town.jp

### ただし書

- \* 町外者が使用する場合は倍額とする。
- \* 町長が特に公益上必要と認めた団体
- \* 宴会に使用する場合は、別に1人につき20円を徴収する。
- \* 結婚式等で中央公民館、町民体育館の大部分を使用する場合は10,000円とする。
- \* 結婚式等で上片桐農村環境改善センターの大部分を使用する場合は10,000円とする。
- \* 下記の団体の場合、使用料を徴収しない。
  - ① 国、長野県、松川町
  - ② 松川町の教育機関及び教育機関が育成する団体
  - ③ 松川町少年少女スポーツクラブ連盟、松川町文化協会

### ④松川町内社会教育関係団体、松川町内社会福祉関係団体

- \* 町長が特に公益上必要と認めた団体
- \* 下記の団体の場合、照明料を徴収しない。
  - ① 国、長野県、松川町
  - ② 松川町の教育機関及び教育機関が育成する団体
  - ③ 松川町少年少女スポーツクラブ連盟
- \* 下記の団体の場合、冷暖房料を徴収しない。
  - ① 国、長野県、松川町
  - ② 松川町の教育機関及び教育機関が育成する団体

### 附則

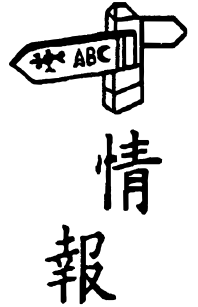
この条例は、平成21年10月1日から施行する。

# 青空の下さわやか スポーツ!!

## 松川町ゲートボール連盟 ゲートボール春季大会

4月12日に6チームが参加してゲートボール春季大会が開催されました。結果は以下の通りです。

- 優勝 中の村チーム
- 準優勝 こぶしチーム
- 3位 さくらチーム
- 4位 堤原チーム
- 5位 宗源原チーム
- 6位 間沢チーム



# 情報

### 本館行事

#### 〈まつかわ寄席〉

期日 6月14日(日)  
会場 町民体育館

#### 〈第1回まつかわ大学(全4回)〉

期日 6月20日(土)  
会場 町民体育館

講師 トレーニングルーム  
日本福祉大  
生涯学習センター長  
杉山邦博 氏

その他 入学金(4回受講)  
1、500円

1回のみ受講  
500円

#### 〈街頭あいさつ運動〉

日時 6月1日(月)  
午前7時~8時

#### 〈なかよしクラブ〉

期日 6月2日(火)  
(雨天4日(木))

会場 子育て支援センター  
「おひさま」

内容 さつま芋苗植え

### 地区館行事

#### 上新井地区公民館

#### 〈健康問題研究会〉

期日 6月6日(土)  
会場 上新井公民館

#### 名子地区公民館

#### 〈健康学習会〉

期日 6月12日(金)  
会場 名子地区公民館

#### 〈パドミントン大会〉

期日 6月21日(日)  
会場 町民体育館

#### 上大島地区公民館

#### 〈歩け歩け大会〉

期日 6月14日(日)

### おわび

先月号の5面「23gの会の会員募集」の記事に誤りがありました。以下のように訂正してお詫び申し上げます。

5頁2段目

(誤)毎週水曜日が、石けん作りの日

(正)毎週火曜日が、石けん作りの日

5頁3段目

(誤)毎週水曜日ですが、

(正)毎週火曜日ですが、

(誤)(ふれあい工房 水曜日のみ)

(正)(ふれあい工房 火曜日のみ)

# 松川町の文化財

(359) 埋蔵文化財 (257)

文化財シリーズ

## 大島城(22)

### 大島城の防衛施設③土塁と櫓台

教育委員会 酒井幸則

城は深い空堀や堀切で本丸や二の丸など、それぞれの曲輪が区画されています。この曲輪個々を防御する施設の一つが土塁です。土塁とは、堀を掘った土を曲輪の縁に土手状に盛り上げて、巨大な土の障壁を造ったものです。ちょうど堤防のようなものが曲輪の縁を巡っている状態になります。当然のことながら、堀底から土塁の頂までは高さが増すことになり、それだけ外敵の侵入には防御性が高まるわけです。

大島城の正面口である三の丸の外堀に面した巨大な土塁は、堅固な二段構成の土塁であることは先に記しましたが、二の丸、本丸にも土塁の痕跡が残っています。これらの土塁は、基本的には古町の大地方向に面した部分、つまり敵が侵入しやすい西に向いて構えられています。三の丸では、西側の外堀から南側に対して、

二の丸では曲輪の西から南の縁に、本丸では西側の縁に土塁が構えられています。今は痕跡を残すのみですが、当時は土塁の高さもあり、土塁の上には板塀あるいは柵列が構えられ、容易に土塁を乗り越えて曲輪の内に侵入できないようになっていました。

三の丸の土塁の南端部と二の丸の土塁の北端部には、土塁部分の幅が広くなり、四角形の形をした小山が残されています。ここは櫓(矢倉)台の後で、監視用の高い櫓が設置されていたものとみられます。この櫓に登れば、それぞれの堀底の様子から曲輪の斜面、また城外の様子まで見通すことが可能でした。

土塁を盛り、その上部に板塀などを施設することにより、曲輪(城)の内部を外から見えないようにする効果もありました。

# 新しい発想と広い視野を

松川町文化協会

平 沢 充 人

松川町文化協会は、書や絵や俳句、短歌、写真、演芸などのサークル間のつながりを計って、研修旅行や講演会などを行っていますが、最大の事業は文化祭実行委員会を中核とした、町民文化祭（今年は10月23～25日）を開くことです。

昨年の文化祭では町民の皆様

様の600余点の作品を町民体育館に飾り、パッチワークの大作や、町民の方々が自費出版された書籍十数点を販売しました。

文化という何となく、とりつきにくいとか、オレには関係ない、というイメージがあります。玄関前のツツジの一株や手洗いの窓辺の一論

4月から公民館・体育館の管理人として着任された宮下義雄さんは、長身ですがしりタイプ。以前はバレーボールをさっていたそうです。

管理人としての不安は体育館使用率の高い子ども達との接し方。どうしたら：と思っていた時顔見知りの女の子に会ったそうです。七楯神社の祭礼で踊りの指導をした事があったそうなのですが、その子が「よっちゃん」と呼んでイイかな？と言ってくれたとか。「俺、コワイ顔だから笑」ととても嬉しかったそうです。



昨年の文化祭より

挿しや、青いアルプスの白い残雪にホッとする心が「文化を感じ取る」感性だと思えます。

それから何人か踊りを教えた子ども達と会って今はとても助けられているそうです。管理人となつてからはナイターソフトを一時休んでいて目下の運動は愛犬のミニチュアダックスとする30分のウォーキング。友達からは身体にあつた犬にしたらと言われているそうです。（私も同感。）

以前新井に住んでいたため取材というより昔の思い出話の方が多かったのは、明るく気さくな宮下さんだったからかななどと思っています。「よっちゃん」宜しくお願ひします。

す。それは人間なら誰でも持っているものであります。自宅の庭を開放するガーデニングの会とか、野の花を訪ねる会とか、あるいは郷土料理の会など、あまり堅く考えずに、新しい発想で文化活動に参加してもらいたいものです。

また、自分の分野、趣味とは異なるものを鑑賞することで、ものの考え方や作品に深さが出ること事実です。



昨年の文化祭より

文化協会は、自分だけ、サークルだけの範囲にとどまらず、外への視野を広げる方向も模索したいと思えます。そのところが町の文化や会の活動にどれだけ貢献できるか、不安は大きいのですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## お父さんお母さんのリンゴの仕事

松川北小6年 大澤友美  
うちの中でリンゴの作業ができるのは

お父さんお母さんの二人。だから

少しの雨なら畑へ行く。お父さんとお母さんは「少しの雨なら畑へ行かない」と言う。

小雨がふつた時に畑へ行った。仕事後のお父さんお母さんの手は

すこくつめたい。こんなにつめたくなるまでやるってすごいな！。

## 優雅

松川北小6年 松尾悠人  
あぜを歩いていた。

田んぼから  
なにかが飛びたった。

トビだ。

トビは  
大きなつばさを広げて田んぼの上をせんかいした。  
その後、  
東の空に飛んでいった。

ふだんみているのに  
一羽で静かに飛んでいるトビは優雅だった。



### 町の古民具 ⑤ 石板と石墨

視点

石でできた筆記具。  
ノートや鉛筆が普及する前に使われた。



# 声

## ネイチャーキッズ 春を食べよう野の草料理研究家 スタッフ みかん

ネイチャーキッズの仲間たちで山菜採りに出かけました。清流苑の芝生でレクレーションをした後、グループごと、およりての森を山菜を採りながら歩きました。大の字広場でみんなで料理しました。「アザミの天ぷらパリパリで美味しいな」「タンポポの花は甘

くてちよつと苦い」「ドクダミはクセがあるね」「あれ？ピザもうないの？」タンポポのピザも大人気です。イタドリの和え物は「酸っぱい！」ウワバミソウとクレソンのおひたし「お漬物っぽくてウマイね」ヨモギホットケーキは「苦くないよ。モチモチだ」

自分達で作った料理は最高です！  
それから自分のニックネームを決めました。仲間と呼び合う愉快な名前が決まりました。自己紹介をして今日の出来事、これからやりたいことを話しました。帰り道には、ゴミ拾いをしました。来月もみんなで来ようね。

### こども福祉教室

## 「あいむ」15周年記念事業

### スタッフ 宮下 和子



子ども達の社会福祉への参加活動を行なう「あいむ」が15周年を迎え、4月18日(土)の開校式のなかで、愉快な道化師・ごろうまるショー”を記念事業として行ないました。

「ごろうまる」こと塚原成幸しげゆきさんは日本クリニクラウン協会の臨床道化師をされています。クリニクラウンとは、Clinic-downの造語で、入院

中の子ども達が本来の力を取り戻し笑顔になるための環境づくりの助けをしています。

ごろうまるさんは真っ赤な鼻を付け軽妙なおしゃべりと見事なジャグリングで子ども達ばかりか大人までも夢中にさせ、初めて会う子ども達も

子ども達の社会福祉への参加活動を行なう「あいむ」が15周年を迎え、4月18日(土)の開校式のなかで、愉快な道化師・ごろうまるショー”を記念事業として行ないました。今年元「あいむ」の子どもが成長しスタッフとして活動する楽しみな一年になりそうです。



# 草

あたたかい季節になったので、ランニングを始めました。健康のため、でもありますが、一番の理由は腰が入らないズボンが増えてしまったためです。これは「いかん」と本気で思ったので意外と長く続いています。子どものころから長距離はとも苦手で、小学校のマラソン大会も嫌いでした。マラソン大会といえば、だいたい校庭を一周して校外に出て行くわけですが、校外に出たとたん横っ腹が痛くなるのが当たり前。まだ先は長いのに。です。大人になった今もすぐに苦しくなります。それでも「ここでやめたら続かない」と自分に言い聞かせ、歩きの速さときほど変わらないうんじやないかという速度でも、がんばって走っています。努力は実るものです。チョット痩せました！ (光澤正之)

公民館報  
「まっかわ」  
第 547 号  
平成21年5月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 塩澤 三佳  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)